

防災シンポジウム

災害に強いまちづくり

～住民がつくる「自助共助」による「地区防災計画」～

8月22日 Thu. 木

14:00～16:00 [開場 / 13:30]

アプラ大ホール

入場無料

近年の大規模かつ多様な災害を受け、災害時における住民による自助共助が重要となっています。東日本大震災や大阪府北部地震から地域における自助共助における自主活動について、本市のアドバイザーをお招きし、神戸市での事例を聞きながら、「災害への備え」を再確認するシンポジウムです。

1. 基調講演 (14:15～15:05)

地域コミュニティにおける防災活動について



高石市防災危機管理アドバイザー
兵庫県立大学大学院
減災復興政策研究科 科長
室崎 益輝 氏

平成7年の阪神淡路大震災において、瓦礫等の下敷きとなった住民の救助では自助共助による救出割合が約8割でした。地域の共助による防災活動推進の観点から、平成25年には災害対策基本法が改正され、「地区防災計画制度」が始まっています。

今後、予想される大規模地震に備え、住民が地区防災活動計画を作成することによる地域での防災力の向上が重要です。

2. パネルディスカッション (15:10～15:50)

住民がつくる「地区防災計画」等

【登壇予定者】

室崎 益輝 氏

神戸市危機管理室
計画担当課長
中山 徹 氏

神戸市魚崎町防災福祉コミュニティ
代表者

高石市長
阪口 伸六



昨年のディスカッションの様子

神戸市では、すでに各地域で地区防災計画が立てられています。また、地理的には大阪湾に面し、臨海部における特別防災区域等、本市と条件が似ていることから、神戸市の事例をもとに、本市が取り組むべき地区防災計画について議論していただきます。

※シンポジウムの内容は、予告なく変更となる場合があります。

問合先 危機管理課 ☎072(275)6245